

令和2年度 第4回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 令和2年10月13日(火) 14:00~16:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 講座室2
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 12名
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長 10名
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 令和2年度 小平市公民館定期講座等一覧表・・・資料1
(2) 令和2年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会 報告・・・資料2
(3) 令和2年度 東京都公民館連絡協議会 委員部会 報告・・・資料3
(4) 令和2年度 第3回小平市公民館運営審議会 会議要録・・・資料4
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 公民館定期講座等について
(3) 東京都公民館連絡協議会について
(4) 自主研修会他について
(5) その他

会議の概要

1 館長報告

- (1) 10月1日に行われた市制施行記念日の式典について
本審議会の委員の中から、在職4年6か月になる江口委員に感謝状が贈呈された。
- (2) こだいらオール公民館まつりの中止について
昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染の影響を考慮して、本年度についても中止が決定した。
- (3) 公共施設マネジメントに関することについて
11月に、「小平第十一小学校へ複合化する公共施設の方向性について」の説明会が行われることになった。

2 令和2年度小平市公民館定期講座等について

事務局より資料1について説明した。

(質疑応答)

委員 大沼公民館の子育て支援講座「アドラー流かんたん暮らしの整理術」のアドラー流とは「個人心理学」という意味か。

分館長 アドラー流心理学の知識を活かし、コミュニケーションを通して家の整理をしていくということである。

委員 定員に対して応募が多い講座があるが、抽選については、公民館共通の方法で行っているのか、それとも、それぞれの方法で行っているのか。例えば、前回落選した方を優先したり、今までやってきた中で欠席の多かった方に配慮をしているのか。それについてなにか問題が起きていないのか。

事務局 抽選はくじ引きで行っている。中央では来館している利用者2名に番号札を引いてもらう。定員までの番号が当選、以降が番号順に補欠となっている。分館でも同じようなくじ引きの仕方になると思う。

委員 同じ内容の講座があっても、もう一度受けたいと思っても、同じ方で2回当選する人もいれば、2回落選する人もいるということか。

事務局 状況によってあり得る。

会長 公正という観点から、このような方法で行っているということだと思う。

委員 上宿公民館のジュニア講座「学んでびっくり！遊んでびっくり！科学工作ラボ」の日程について、午前と午後があるが、上宿小学校の授業の関係か。

分館長 担当校の上宿小学校の土曜授業の関係でこのような日程になった。

会長 以前、ジュニア講座開催の時には、学校との連携が必要だと、審議会で意見があったので、このように学校と連絡を取りながら調整されたことは良い成果だと思う。

会長 花小金井北公民館のシニア講座「スマホ(アンドロイド)を使いこなそう」について、定員16人に対して、57人の応募があったが、今後の考えはあるか。

- 分館長 この講座は、花小金井北公民館にWi-Fi設備がないことや部屋の定員数のことなどから人数に限りがある。落選の連絡をすると「次回はいつやるのか」といった質問があるので、事業企画委員会に情報提供し、来年度も実施したいと考えている。
- 会長 こんなに大勢の人が公民館に来たいということなので、来年度にぜひ企画してほしい。
- 委員 鈴木公民館の健康づくり講座「ピラティス」は、コロナでなければ定員は何人か。年代別内訳などは分かるか。
- 分館長 フロアで横になって実施するものなので、16人程度が限度だと思う。応募者の内訳は、土曜日の講座なので、普段働いている40代ぐらいの方から最高齢で80歳の申込みがあった。
- 委員 56人という応募者数は素晴らしいと思う。今「健康づくり」というテーマによって、人気があるということなのか。「健康」に関心が高いということか。公民館としてどのように捉えているか。
- 事務局 一般的にピラティス、ヨガ、軽体操は応募者数が多い。内容にもよるが、座学の講座より、実技や体を動かすなどの体験型の講座の方が、応募が多いと思っている。
- 委員 鈴木公民館でマンスリーミニコンサートを開催したが、コロナ対策として人数制限以外ではどのような対策をしたか。
- 分館長 入口に消毒液を設置し、来館者は検温してから来てもらった。また、座席の間隔を開け、窓を少し開けて常時換気をした。さらに、演奏者と観客の間にビニールのスクリーンを張ったので、多少見づらかったと思うが、特に苦情はなかった。
- 会長 はなカフェも開催した。公民館でもできることがあることを発信したことが良かった。
- 委員 中央公民館の文化・教養講座「憲法講座 世界の憲法と日本国憲法」は実施しているところが少なく、他市から評価されている。また、金曜市民劇場は、公民館だよりも毎号掲載して周知してほしい。また、市報にはギャラリー案内の横に掲載してほしいとの声があった。
- 委員 各館の公民館まつりは中止だが、学習成果発表展は開催するということか。

事務局 学習成果発表展は、中央公民館と分館で主催した講座についての学習成果の発表ということで、主に掲示物や作品を展示するもので、実施に向けて検討中である。

委員 いろいろな事業が中止になっているので、何とか工夫して学習成果発表展を是非開催してほしい。現在、昨年度の学習成果の掲示物が中央公民館に飾られている。公民館利用者が見ていて、とても良いと思う。

会長 みんなでつくる音楽祭はどうなっているか。

事務局 みんなでつくる音楽祭は、実行委員と中央公民館の担当で月に1～2回の会議を行っている。例年通りの音楽祭はできないとの判断に至っていて、来年度に向けてのPRをしていくことを考えている。音楽祭実行委員のホームページで何か発表できるようなもののコンテンツを提供できないかというようなことを実行委員の中で話し合っている。

委員 講座の開催が後期に集中し、予算的に大丈夫か。

事務局 今年度予定されていた当初の講座数の5割を目指して、実施する予定で、本年度については当初予算の約5割程度になると考えている。

3 令和2年度 東京都公民館連絡協議会について

事務局より資料2について、委員より資料3について説明した。

委員 10月24日の委員部会の講演会は分館長もできれば参加してほしい。

4 自主研修会他について

2月の自主研修会の方向性が出れば良いと思う

委員 社会教育に関する話しをお願いしたい。具体的には千葉大学名誉教授の長澤先生か朝岡先生の講演が聞きたい。各分館の利用者懇談会の役員や企画委員も一緒に参加ができれば良いと思う。三者の交流会については、1年に1回はやるべきだと思う。

委員 参加したいと思っている。公民館が抱えている課題や市民が感じていることについて話しが聞けたら良いと思う。

- 委員 1時間くらいの講演をして、その後グループに分かれて情報の共有化をしたらどうか。各分館の事業企画委員や分館長にも参加してもらい目的を共有化できればいい。
- 委員 公民連とも事業企画委員とも交流したいと思っていた。専門家の話しも聞きたい。議論なども双方向でできたらいいと思う。
- 委員 久米委員の提案に、Web会議ソフト「Zoom」やオンライン会議のための設備と機材操作の研修会を実施するとあり、できるかどうか分からないが、いいアイデアだと思っている。
- 委員 講師を呼んでの講演会には、大賛成。審議会の前に、過去の資料を要求したが、古い資料を見て参考になることもあると思う。
- 委員 講演会はお願いしたい。公民館は、コロナ禍でいろいろな課題が出てきている。オンラインの講座などを実施することで、抽選における落選者についても解決できる。来年度以降も検討すべき課題だと思う。
- 委員 講師の先生を呼んで学ぶことに賛成。その中で、地域が生き生きしてこんなこともできているという事例も聞けたらいい。意見交換もしたい。実践のヒントになるようなものが聞けたらいいと思う。
- 委員 コロナ禍で、公民館のあり方や活動実践が問われている。住民と一緒に作っていく公民館という視点に立てば、事業企画委員の方や一般の方とも議論をするとてもいい機会のタイミングだと思う。公共施設の人数制限は、危機管理上これからもあると思われるので、解決策の一つとして、Zoomやオンラインといったことがある。講師の先生に共通のテーマでリンクして開催するか、久米委員の提案のテーマは後日改めて開催するか、両方合わせたようなテーマで開催できればいいかと思った。
- 会長 コロナ禍における公民館のあり方を考えていて、事務局から公民館の利用者状況が激減していると聞いている。
- 委員 市で予算をつけて全館でオンライン講座ができるようにすればいい。Wi-Fiの設置が2館しかないと聞いている。来年には、全館に設置してほしい。
- 館長 課題解決の一つとして、環境整備やオンライン講座は、あってよいと思っている。ただし、選択肢は一つではなく、公民館という場の持つ意味もあるので、コロナ禍で公

民館がどのようなことができるかという解決策は、複数あった方がいいと思う。

委員 公民館だよりを充実させる、市報なみに全戸配布することは予算が関係してくるだろうが、今あるものから充実させるのはどうか。

館長 公民館のあり方をどう考えるかということで、このように審議会などで、今後の運営について議論することにつきて思う。先ほどのオンラインの環境についても、費用面などの検討が必要だと思っている。

委員 今、公民館を利用する人の年齢層は高い気がする。どこに照準をあてるかでオンラインやZ o o mの対応が変わってくるので、教えてほしい。

会長 公民館を利用する方の年齢層は高いと思う。それでも審議会では、若い人に利用してもらうにはどうしたらいいかを検討していた。

館長 利用者は、60代以上、とりわけ70代の人が多いと思う。ただし、この世代の人が電子機器を使えないかということではない。小川西町公民館が移転する公共床の公共施設マネジメントの会議などでも、駅から近く、いかに若者を取り込むかということで議論がされていた。

委員 年代も大事だが、先日80歳に近い人がZ o o mができたと喜んでいて。個人の多様性も必要で、私は古い資料の検証が必要だと思う。

委員 小川西町公民館の20代から40代の母親の声を紹介する。保育サービスや職員の対応など、公民館が好きだという意見が多い。このコロナ禍では、二通りの考え方があり、顔を合わせられる公民館がいいという意見と、まだ怖いのでオンラインがいいという意見があり、併用がいいのではないかと思います。

会長 自主研修会のテーマなどについては、早めに三役でまとめる。

5 その他

会長 花小金井南公民館で作成した飛沫防止シートは各館に配備されたか。

事務局 飛沫防止パネルが、10月中に納品予定。花小金井南公民館式の飛沫防止シートは、

中央では、3台作成した。

委員 前回説明された補正予算の状況について説明してほしい。網戸は最優先でお願いしたい。

事務局 網戸、換気扇については、現在見積り中。非接触型体温計、扇風機・サーキュレーターについては納品済み。

次回の定例会は、12月15日（火）午後2時から小川西町公民館にて開催する。